

生活道路の安全性向上に向けて 「ハンプ」を自治体担当者が体験

～四国で初めて、ハンプ体験会を開催します～

○歩行中・自転車乗車中死者数のおよそ半数が身近な道路で発生している現状を受け、国交省では生活道路の交通安全対策を推進しています。

○生活道路の交通安全対策における代表的な対策の1つである「ハンプ」については、香川県内で設置された事例が無い^{ため}、自治体担当者等に有効性を体感してもらう体験会を四国で初めて実施します。

ハンプとは、自動車速度を低減するために道路上に設けられた凸型の構造物です。

1)日時:平成31年1月15日(火) 14:00～15:00

2)場所:高松競輪場 駐車場
高松市福岡町一丁目4-46

3)対象:四国内の地方公共団体の交通安全対策担当者

4)実施内容

- ・会場に、幅4m×長さ6m×高さ0.1mの可搬型ハンプを設置。
- ・走行速度を変えて走行ルートを試走。
- ・実際に自動車でもハンプ上を走行し、ハンプによる騒音・振動・不快感や減速意欲を確認。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.4全国に先駆けて進行する人口減少への「子国」支援対策プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所
TEL(直通) (087)821-1635

◎ 事業対策官 吉田 敏浩 (内線208)
交通対策課長 新池 保徳 (内線471)

※◎:主たる問い合わせ先

ハンパ体験会 概要

- 現在、香川県内においては、生活道路対策メニューの一つであるハンパは未設置です。
- 四国地方整備局では、地方公共団体への技術的支援の一環として可搬型ハンパ（四国地方整備局保有）の貸し出しを促進しているところです。
- 今回、高松競輪場駐車場において、実際に自動車でハンパ上を走行するハンパ体験会を開催します。

■会場位置図



■開催日時：平成31年1月15日（火）14:00～15:00

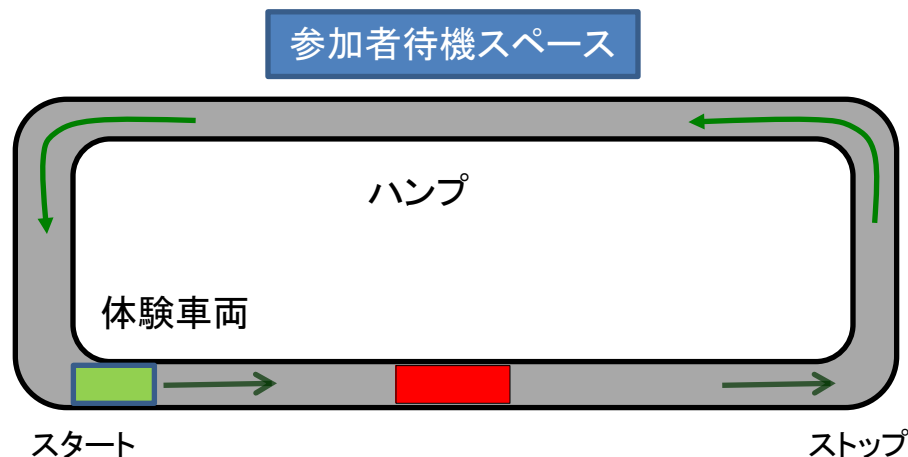
■実施内容

項目	内容	参加者
ハンパ体験会	四国地方整備局にて保有している可搬式ハンパを使用し、実際に自動車でハンパ上を走行することにより、その有用性を参加者に確認頂く	<ul style="list-style-type: none">・四国地方整備局・香川河川国道事務所・四国内の地方公共団体

ハンパ体験会 概要

- ハンパ体験会では、速度の違いによる3パターンの走行シナリオを用意し、実際に自動車でハンパ上を走行することで、ハンパによる騒音・振動・不快感・減速意欲などを確認いただきます。
- ハンパの設置は、自動車の速度を十分に減速させ、生活道路において歩行者、自転車の安全な通行を確保することを目的としています。

■ 走行コース

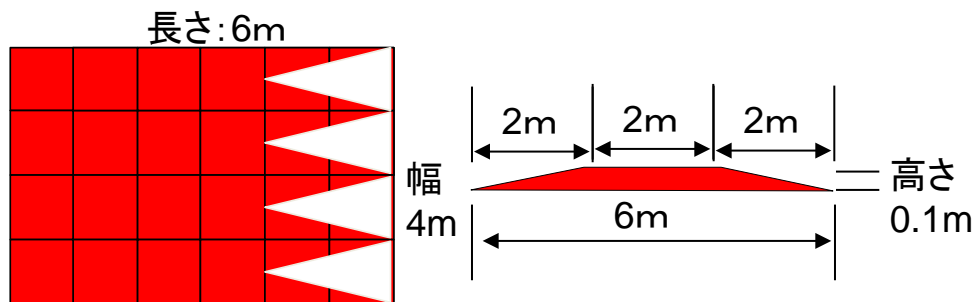


■ 走行シナリオ

走行シナリオ
走行速度40km/hで走行※
走行速度30km/hで走行
走行速度20km/hで走行

※走行速度は現地状況を見て変更あり

■ ハンパ概要



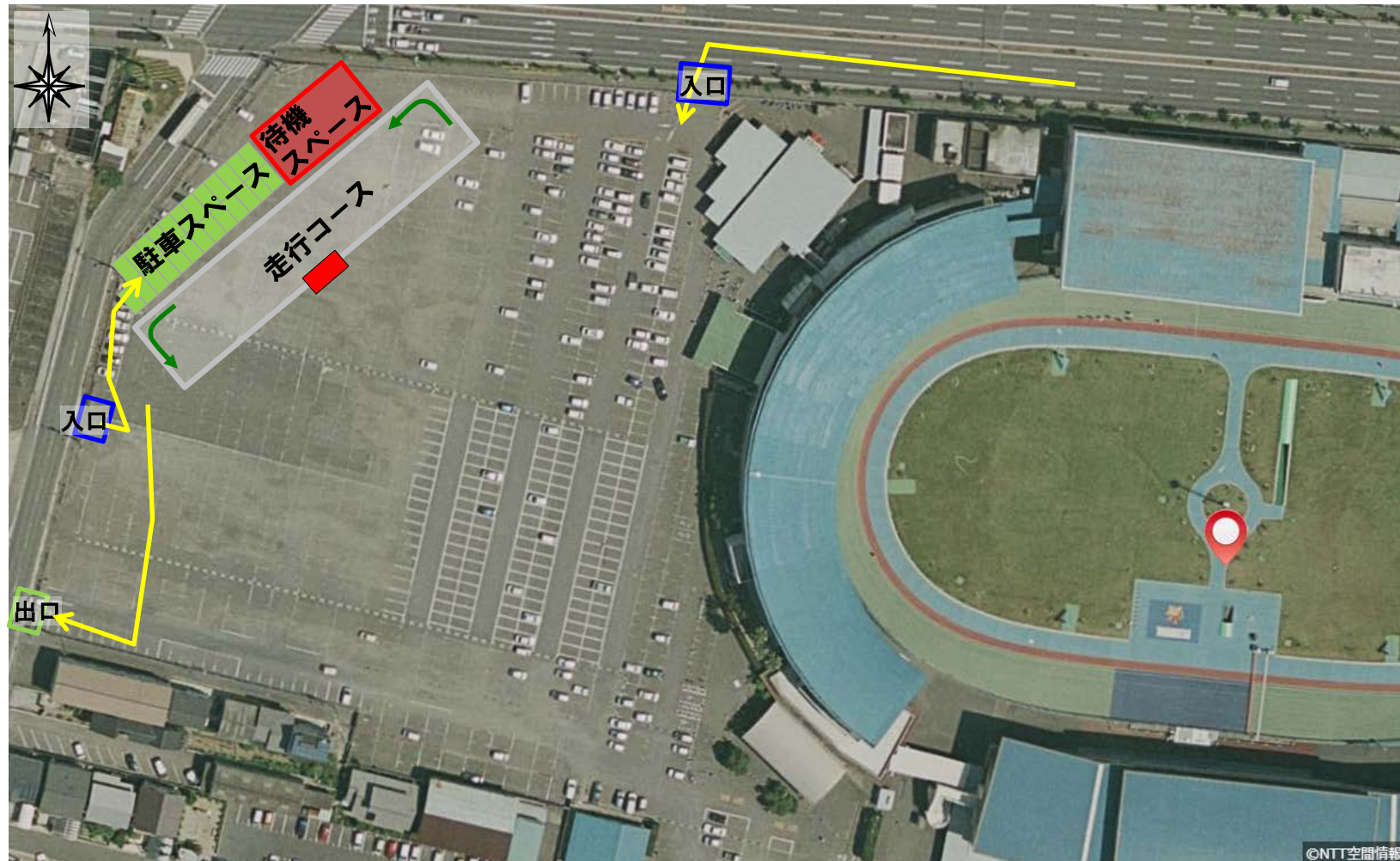
■ 可搬式ハンパ設置イメージ



走行コースの配置図

○走行コースは高松競輪場駐車場内に配置。

■走行コースの配置



生活道路を、ゾーン規制と連携して、歩車混在 から歩行者・自転車中心の空間へ転換します

参考

周辺の幹線道路が整備されたエリアにおいて、物理的に速度低減や進入抑制を図る対策を実施します。
道路空間を車中心から歩行者・自転車中心の幅員構成へと再配分します。

暮らしのみちを安全にする対策



※自動昇降する車止め

エリアの中は、歩行者・自転車中心の空間へ

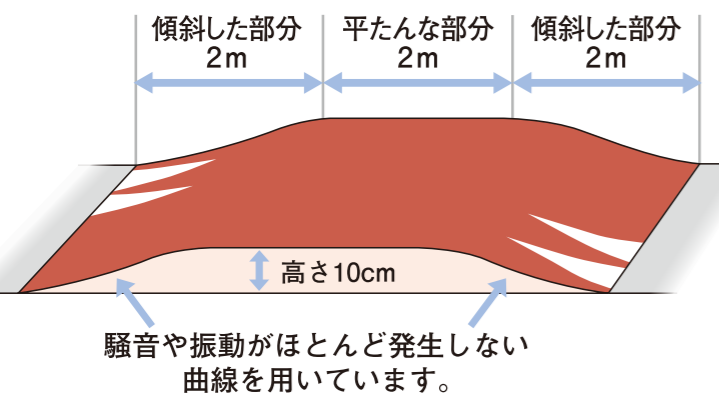


©公安委員会により実施される交通規制、交通管制及び交通指導取締りと連携

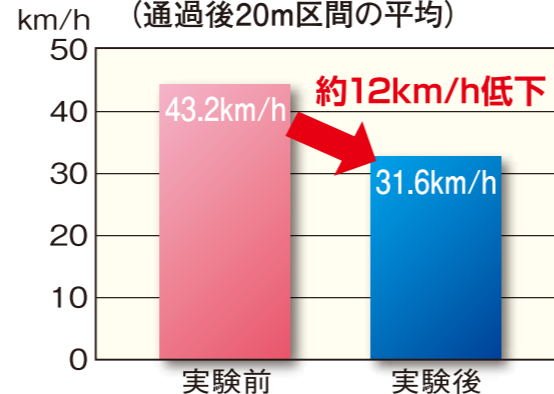
※公安委員会

ハンプによる速度抑制効果

標準的なハンプをななめから見た図



ハンプ通過後の速度 (※12)



生活道路の速度別の致死率 (※13)

